

第6学年2組 社会科授業案

授業者 鈴木 良輔

1. 日 時 平成24年11月28日(水) 第5校時 場所 6年2組教室

2. 単元名 「みんなの願いをのせた街づくり～どうしてできないの!? つつじが丘新駅～」

3. 単元の目標

- 豊橋市の政治のはたらきと、市民生活とのかかわりに関心を持ち、区画整理事業や新駅計画について、すすんで調べようとする。 (社会事象への関心・意欲・態度)・・・**A**
- 政治のはたらきを、市民の願いや市民のよりよい生活と関連づけて考え、市民のためのよりよい街づくりについての自分の考えをまとめ、発表することができる。 (社会的な思考・判断・表現)・・・**I**
- 区画整理事業の目的や、新駅建設の是非をめぐる問題についての調べ学習を通して、必要な情報を集め、自分の考えに取り入れることができる。 (観察・資料活用能力)・・・**ウ**
- 市民の願いが実現される過程で、市議会がはたす役割や、税金のはたらきについて理解することができる。 (社会的事象についての知識・理解)・・・**E**

4. 単元設定の理由

(1) 児童観

本学級は、男子21名、女子18名の計39名の学級である。児童は、3年生から5年生にかけて、つつじが丘校区、豊橋市、愛知県、日本、と学習の対象を次第に広げながら社会科の学習を行ってきた。それぞれの段階において、人々の生活の様子や地理的環境、産業の様子などについて意欲的に学習に取り組んできた。6年生から始まった歴史学習においても、興味をもっての子が多く、特に「3人の武将と全国統一」の単元では、教科書や資料集、図書館の本などの資料を使って、意欲的に調べ学習に取り組めた。しかし、与えられた課題に対して調べることで満足してしまう子が多く、新たな疑問や課題を見つけ、自らすすんで追究していく子供の姿はほとんど見られなかった。

つつじが丘校区は、校区としての歴史が浅く、本学級の児童も、ごく最近になって移り住んできた家庭がほとんどである。したがって、自分たちが住んでいる校区が、地域住民の願いのもと、政治のはたらきによってつくられた校区であることを知らない。校区には、公園や歩道が整備されており、授業後や休日に友達と公園で遊ぶ子も多く、自動車を気にせず快適に登下校できることを便利だと感じている子もいる。

以上のことから、児童は、社会科の学習に意欲的に取り組んでいるが、主体的に課題を追究するまでは至っていない。また、つつじが丘校区のよさに気づいている子は多いが、そのよさが地域住民の願いのもとに政治のはたらきによって実現されたことまでには気づいていない。政治のはたらきが住みよい街づくりにかかわっていることがわかる教材を取り入れることで、児童が主体的に課題を追究し、地域をよりよくしていこうとする思いを育むことができると考えた。

(2) 教材観

現在のつつじが丘校区がつくられた「福岡東部土地区画整理事業」は、地域住民の願いが政治

のはたらきによって実現された公共事業である。この区画整理事業は、つつじが丘校区だけでなく、豊橋市全体の利益にもなる事業であることから実現された。一方、区画整理事業の総決算として計画された「豊橋新駅建設計画」は、建設を願う人々がいるものの、収益性の問題などから実現には至っていない。この2つの公共事業を教材とすることで、児童が主体的に課題を追究していくなかで、政治のはたらきについての理解を深め、地域をよりよくしていこうとする思いを育むことができるだろうと考えた。

○福岡東部土地区画整理事業について

このつつじが丘校区は、昭和51年から平成8年の「福岡東部土地区画整理事業」により、道路が基盤目にひかれ、遊歩道や公園が整備され、大変住みやすい校区として生まれ変わった。沼地や田んぼ、畑が多く未開発地だったこの地を、スプロール現象を抑制し、もっと住みやすい街にしたいという地域の願いを市がくみ取り、地域の人が組合を設立し、この区画整理事業は進められていった。この事業は、地域の多くの方が携わり、そういった人たちの努力と苦勞をもとに、150億円という莫大な費用と、準備から完了までの30年という長い年月をかけて行われ、達成された。

○豊橋新駅建設計画

東海道本線の中でも、豊橋駅と二川駅の間は、6.9kmと長く、区画整理事業の中に「つつじが丘に新駅を」という新駅建設を望む声が常にあがっていたことから、土地区画整理事業で、つつじが丘三丁目に新駅建設用地を市が確保し、新駅建設の話は進められていった。区画整理完了後は、自動車を利用する人が増え、交通渋滞や交通事故の多発、さらに排気ガスによる環境の悪化などの問題が生じてきた。そうした中で、地元市議会議員や総代が立ち上がり、平成10年に関係する住民代表(国会議員、市議会議員、総代等)によって、豊橋市長を会長に「豊橋新駅建設促進期成同盟会」を発足し、官民一体となり新駅建設に向けて動いている。なお、新駅建設資金の一部は、土地区画整理事業組合から寄付されている。しかし、豊橋市の財政状況や社会情勢の変化、採算面など、新駅建設実現へは解決すべき課題は多くある。現在も新駅建設に向けてJR東海へ要請したり、他駅の視察をしたりして動いているが、早期の実現は難しいのが現状である。

(3) 指導観

現在の住みよいつつじが丘校区がどのようにしてできたかを知らない児童に対し、区画整理事業によって現在の校区がつくられたことがわかる学習を設定する。そのなかで、住みよい街づくりを願い、その実現のために尽力した人々の思いと、その願いを実現した政治のはたらきについて気づかせたい。そのための手立てとして、児童の調べ学習を支える自作資料を用意したり、区画整理事業に携わったつつじが丘校区在住で元市議会議員の石倉さんをゲストティーチャーとして招いたりする。さらに、単元のなかで豊橋新駅建設計画について取り上げることで、新駅の建設を望む人々がいる一方で、未だその実現には至っていない現状について考えさせる。そこからは、新駅の建設には市民の税金が使われるため、校区に住む人々の利益だけでなく、豊橋市民全体の利益が見込めないと実現は難しいという側面が浮かび上がってくる。市役所都市計画部の方や、期成同盟会発足当初から携わっていた石倉さん、自治会長の方、親・地域の人へのインタビューを取り入れることで、建設を望む人々の思いに迫るとともに、豊橋市民全体の願いを実現していく必要がある政治の役割について考えさせたい。そして、身近な校区の問題を取り上げることで、児童の主体的な追究を引き出し、地域社会の一員として、校区の利益だけでなく、豊橋市全体の発展を考えて街づくりをすすめるようとする思いを育みたい。

5. 単元構想（全17時間）

昔のつつじが丘と今のつつじが丘を見てみよう。①**ア**

- ・昔のつつじは、森や田んぼ、沼が多いよ。
- ・昔の道路はぐちゃぐちゃだけど、今は新しくまっすぐな道路になったよ。
- ・昔のつつじは田舎だったけど、開発されて都会になった感じがするよ。
- ・区画整理でこの辺りの地域が大きく変わったって聞いたことがあるよ。

※校区に興味をもたせるため、区画整理前と後の航空写真を見せ、校区の変化に気づかせる。

ぼくたちの住んでいるつつじが丘の街って、区画整理ですごく変わったんだね。知らなかったよ。今でもとってもいい場所だけど、遊園地やゲームセンターとか、もっと違うものもあるといいな。

僕なりの街づくりを考えてみたいな。②**ア**

- ・スポーツがもっと上手になりたいから、野球場やサッカー場がほしいな。
- ・豊橋スーパーツリーができると、東京みたいに豊橋も有名になるよ。
- ・自然が豊かな街になるほうが、すてきな街になると思う。
- ・オリンピックができるような建物ができると、たくさんの選手に会えるからいいな

※街づくりへの関心を高めるために、自分だったらという視点で考えさせる。

新しい街を作っていくのって、楽しいし、わくわくするね。でも、いろんなものを建てるとお金がたくさんかかりそうだよ。区画整理はどうだったのかな。

区画整理って何だろう。③④調べ ⑤交流 **アウ****目的**

- ・スプロール現象の予防や豊橋の副都心にするため。
- ・暗くて住みづらいという住民の不安を解消。

過程（手続き）

- ・校区の代表者と市の人が話し合いを重ねた。
- ・合意者は90%、反対者は10%。

期間

- ・準備から完成まで30年かかった。

費用

- ・150億円かった。
- ・その中には、豊橋市の税金が使われている。

関わった人

- ・校区の代表者。
- ・市役所の人、豊橋の市議会議員の人。
- ・工事の人。
- ・いろんな人が協力して区画整理が行われた。

変化

- ・つつじが丘小学校は、沼地に建てられた。
- ・今までの道がなくなり、まっすぐな道ができた。
- ・人口が5倍以上増えた。
- ・住みやすそうだから、引っ越してきた人がある。

※区画整理の子どもの疑問から、自作資料を作成し、疑問を解決できるようにする。

つつじが丘で行われた区画整理は、住んでいる人だけでなく豊橋市の人にもいいことだったんだ。150億円の中には、「税金」っていうのが使われたみたいだけど、だれのお金なんだろう。

区画整理に使われた、「税金」って、どんなお金のことなんだろう。⑥**エ****種類**

- ・所得税 → 市民から集める。
- ・法人税 → 会社から集める。
- ・消費税 → ぼくたちも払っている。

使われ方

- ・公共施設を建てる。
- ・公共のサービスに使われる。
- ⇒「みんなのために役立つ施設」「安全で快適な暮らしのため」に使われる。

税金って、大人の人だけが払うだけでなく、ぼくたち子どもでも払っているお金だったんだね。でも、区画整理にお金を使うのなら、豊橋市の人みんながいいって言わないといけない気がするよ。

税金の使い方って、どうやって決められているのかな。⑦**エ**

- ・税金の使われ方を決める。
- ・市の仕事が正しく行われているか、チェックする。
- ・市のきまりも決める。

豊橋市議会
(市議会議員)4年ごと選挙。

- ・税金の無駄づかいがないように、話し合う。
- ・「市民全体の幸福」のためになることを考える。

たくさんの人のお金を使うからこそ、どんなことが豊橋の人のために大事なのかを考えることって、必要なんだね。つつじが丘校区に、元市議会議員の人がいるって聞いたけど、区画整理のことを知っているのかな。

元市議会議員の石倉さんは、どんな思いで区画整理をしていたのかな。⑧聞き取り ⑨交流 **イウ**

- ・土地を移動することを嫌がる人がいて、簡単には仕事が進まなかった。
- ・つつじが丘の校区に昔から住んでいるから、自分の手でよくしたかった。
- ・当時、住んでいる人のだけでなく、新しく引っ越してくる人にとっても、住みやすい街になってほしいと願っていた。
- ・区画整理の総決算として、また、住みやすい街にするために「新駅」を作ろうと計画を立てた。

※区画整理にかかわっていた人の思いや苦労を知るとともに、つつじが丘校区の街づくりはまだ完了していないことに気づくために、校区在住の元市議会議員の石倉さんの話を聞く。

区画整理を行うには、たくさんの苦労があったけど、それでもそこに住む人のことを真剣に考える石倉さんって、すてきな人だな。「新駅」ができるなんて、初めて聞いたけど、どんな計画なのかな。

新駅って何だろう。⑩⑪一人調べ ⑫交流 **アウ****目的**

- ・店ができたり、豊橋駅に行きやすくなったり、人口が増えたりして、今より活性化して、便利な街になる。
- ・渋滞が減り環境にもいい。
- ・通行手段も増える。

期間

- ・区画整理のときからスタートしている。
- ・期成同盟会を作って、もう14年もたっている。

費用

- ・30～40億円もかかる。

豊橋新駅建設期成同盟会

- ・地域の人がお願いの文章を市に提出して、豊橋新駅建設期成同盟会を作っている。
- ・住民と市とが協力する「官民一体」となって、取り組んでいる。
- ・土地区画整理組合からお金を寄付してもらっている。
- ・毎年会議をしたり、JR との話し合いや他の新駅の調査をしたりしている。
- ・パンフレットも作って、新駅の紹介もしている。

関わっている人

- ・国会議員、県議会、市長、市議会議員、自治会長など、たくさんも人がかかわっている。
- ・自治会長は、つつじが丘だけでなく、岩西や飯村、栄や幸などの自治会長にも協力してもらっている。

他駅の様子

- ・相見駅は100年もかかって完成している。
- ・相見駅にも期成同盟会があった。

※新駅計画の流れを理解したり、新駅ができるよさに気づいたりするため、イメージ図を掲示したり、自作資料を作成したりする。

※他の新駅と比較できるように、相見駅の資料を提示する。

新駅建設のためにも、期成同盟会で毎年会議をするなど、いろんな人の努力があるんだ。でも、14年たっててもできないっていうことは、もう新駅ができる可能性はないのかな。

まだ新駅ができる可能性はあるのかな。⑬予想 ⑭一人調べ ⑮話し合い（本時）**イウ****ある**

- ・市長や市議会議員などいろいろな人が関わっていて、そういう人たちが長年努力してきた。その努力を無駄にしてはいけない。
- ・石倉さんが、つつじが丘以外にも、飯村や岩西、栄、幸などの校区の人にも生活が便利になるって言ってたよ。
- ・駅ができれば、店や人口も増えるし、通行手段も増えるし、市が活性化するよ。
- ・相見駅は100年願いを伝えてきたんだから、僕らも声を出していけば、いつかはできるよ。

ない

- ・駅を作るお金があったら、もっと市民のためになるようなものに使って欲しいって親が言ってたよ。
- ・税金は豊橋市全体の幸福のために使うべきだから、利用者が少ない新駅には厳しいって市役所の人には言ってたよ。
- ・市役所の人、石倉さんも、豊橋市の発展を願って、広い道路や保育園なども考えていて、新駅はその一つだから、新駅より先に市民のためにやることもある。

※問題点や様々な立場の人の意見を聞くため、市役所の人、石倉さん、期成同盟会の人、地域の方々などへ、質問内容を考え、インタビューさせる。

税金を使うってことは、豊橋市全体のことまで考えないといけないんだね。だから、いろいろな人の意見を聞くなって大事だね。

ぼくたちの力で、住みよい街の活性化プランを考えたいな。⑯調べ ⑰話し合い **イ**

- ・幸公園を改良して、お年寄りから子どもまで遊べる施設にしよう。
- ・もっと緑豊かな街にするために、公園や川に木を植えたらかうかな。
- ・お年寄りや障害者など、全ての人が住みやすいようなユニバーサルデザインはどうかな。
- ・地域のイベントを増やして、人を集めよう。

※「豊橋市全体の幸福」を実感させるために、子どもが提案した案が、市民のためになっているかという視点で議論し、多くの人にとって、よい街になるように考えを深める。

つつじが丘や豊橋の街が、これからも住みよい街になっていくように、僕たちも考えていこう。将来、地域の一人として、ぼくたちの力でその地域が発展するようにしていけるといいな。

6. 本時の指導（15／17時間目）

- (1) 目標
- 新駅建設についての様々な立場の意見を聞き、多面的に新駅についてとらえ、豊橋市全体の問題として新駅建設を考えることができる。（思考・判断・表現）
- (2) 本時について
- 子どもたちは、つつじが丘に計画されている新駅ついて調べ、「新駅ができたらうれしい」といった自分本位な考えで新駅を捉えていた。そこで、様々な立場の人の意見を調査させ、市役所都市計画部の方や石倉さん、期成同盟会の方、地域の人々へのインタビューをしてきた。本時では、それらを基に新駅建設についての自分の意見と理由を発表し、話し合うことで、様々な立場の意見から、駅がもたらす便利さと、現実には難しい問題点があることに気づくであろう。その後、税金のことを話題に上げて、子どもたちの視野をつつじが丘校区から豊橋市全体に広げる働きかけをすることで、改めて新駅建設について考えさせたい。
- (3) 展開
- ※支援

☆評価

時間
(分)

0

まだ新駅を作る可能性ってある？

※自分の意見を明確にして話し合いに参加させるために、名前マグネットを黒板に貼る。

○理由を発表する。

時間がかかるけどある

ない

- 会議を毎年やっていて、期成同盟会の人はまだ諦めていない、って言っていたよ。
- 期成同盟会では、市長や市議会議員などいろいろな人が関わっていて、そういう人たちが長年努力してきた。その努力を無駄にしてはいけな
- い。
- 新駅のための用地が確保されている。
- お金が、区画整理組合から寄付されている。
- 駅を作ると、つつじが丘以外にも、飯村や岩西、幸などに住んでいる人の生活がとても便利になるって石倉さんが言ってたよ。
- 豊橋駅の渋滞がなくなったり、環境にも優しくなり、いいことがたくさんあるよ。
- 相見駅は100年願いを伝えてきたんだから、僕らも声を出していけばいつかはできるよ。
- 駅ができれば、店や人口も増えるし、通行手段も増えるし、市が活性化するよ。

駅ができると街が発展する

親は駅ができてそんなに使わないって言って
いだから、使う人が少ないかも。
・今豊橋市の人口は減っていて、利用者が少ないから、作っても無駄になる。
・人口が増えるって、家を建てる土地はあまりないよ。
・駅を作るお金があったら、もっと市民のためになるようなものに使ってほしいって親が言っていたよ。
・地域の人たちの願いがあっても、利用者が増えなかったら、赤字になってしまって、さらに税金を使うことになってしまう。
・税金の無駄使いだって親の言っていたよ。
・市役所の人も、石倉さんも、豊橋市の発展を願っていて、広い道路や保育園なども考えていて、新駅はその一つだから、新駅より先に市民のためにやることもある。

20

25

豊橋市全体のことを考えたときに、新駅についてどう思う？

※視野を広げて新駅について考えさせるために、「税金は豊橋市民全体のため」というキーワードを強調する。

○意見を考え、話し合う。

・豊橋市全体のことと考えて、税金の使い道を考えると、新駅は欲しいとは思うけど、他の使い方もあるのかもと思う。

・今の出来ていない状況を見ると、市役所の人

の言うとおりの、相見駅のように長い時間かけて努力していく必要があると思う。

・街づくりは続いていて、今までも努力してきた人がいるんだから、今後も新駅建設の願いを届けていくのが大切だと思う。

・新駅が必要なのか、必要じゃないのか、わからなくなってきたよ。

40

45

○今日の授業の感想を書く。

税金を使うってことは、豊橋市全体のことまで考えないといけないんだね。だから、いろんな人の意見を聞くって大事だね。

- ☆ 思考・判断・実践（活動・ワークシート・発言）

A 新駅建設の話し合いから、つつじが丘だけでなく、豊橋市全体のことまで考えを広げた具体的な発言ができる。

B 様々な意見とからめて、新駅建設に対しての自分の意見をもつことができる。
- ※Bに満たない子には、新駅に対する意見を確認し、様々な意見からどれが一番印象に残っているか問い、自分の考えを引き出す。